

# まちの話題



## 心のままに踊ろう！



9/29

南永小学校の児童6人がコンタクト・インプロビゼーションを体験しました。

市内在住の鹿島聖子さん、勝部ちこさんらが講師を務め、テーマに沿って体を動かしたり、ピアノの音に合わせて自由に踊ったり、他者とのふれあいの中から生まれる即興ダンスの魅力を楽しみました。

参加した児童は「最初は恥ずかしかったけど、段々と自分の気持ちを表現できるようになって楽しかったです」と充実した表情で話しました。

## やる気バルーン 空高く



9/27

大口東小学校で運動会が開催され、閉会式後にバルーン400個を全校生徒で飛ばしました。

このイベントは児童のやる気向上と新型コロナの終息を願い、小学校と校区コミュニティ協議会が合同で企画し、伊佐湧水消防組合が環境にやさしい風船を提供しました。

「やる気いっぱい頑張るぞ！」と元気な掛け声を合図に、カラフルな風船が秋空に高く舞い上がり、児童や関係者らは笑顔で見上げました。

## めざせ！かごしま国体！



10/11

菱刈カヌー競技場で、伊佐市カヌー競技長距離記録会が行われました。市内外から小・中・高校生及び一般選手合わせて43人が参加し、3,000mのタイムを競いました。

この大会は、2023年に延期された「かごしま国体」に向けて、地域の機運持続と競技力の向上を目的として伊佐市カヌー協会が開催しました。

伊佐カヌークラブ所属の松山登和さんは「一生懸命練習したので、いい記録を出すことができました」と笑顔で話しました。

## 伊佐米 PR ポスターを制作！

10/13



伊佐米・湧水町産米イメージアップ推進協議会は、伊佐米と湧水町産米の安心・安全でおいしさの魅力を伝えるポスター写真の撮影を行いました。「エール」をテーマに、鹿児島レブナイズの選手5人と地元農家らが参加して、今年もおいしいお米が収穫できたことをアピールします。

このポスターは、11月上旬頃から市内外の公共施設や物産館などに掲示する予定です。

## 祝 南三陸復興祈念公園全面開園

10/12



宮城県南三陸町の震災復興祈念公園が完成しました。復興祈念公園は、津波で消失した旧市街地を嵩上げて整備されました。

開園式では、公園とさんさん商店街を繋ぐ隈研吾さんデザインの「中橋」のテープカットと渡り初めに、平沢復興大臣や村井宮城県知事をはじめ、伊佐市長も参加しました。

当日の様子は、大口ふれあいセンター1階に写真を展示していますので、ぜひご覧ください。

## 五穀豊穰に感謝

10/8



また、「サルノテアワ」を献穀する上之原毅さんは「約60年ぶりに粟を収穫しました。長雨の影響が心配だったが、立派に育ちいい粟ができたと思います」と話しました。

宮中行事「新嘗祭」に献上する米・粟の抜穂の儀が行われました。鹿児島県から献上する穀物は、県内各地区のJAが持ち回りで栽培し、伊佐では13年ぶり。

「ヒノヒカリ」を献穀する山口久行さんは「身の引き締まる思いです。無事収穫できてほっとしています」と話しました。

## 防ごう！うそ電話詐欺被害

10/6



伊佐湧水警察署と伊佐市防犯協会は、うそ電話詐欺などの特殊詐欺被害を未然に防止するため、啓発マスクを2,000枚贈呈し、市内の調剤薬局を利用する高齢者に配布します。

障子田穂積署長は「昨年度は、管内においてうそ電話詐欺を未然に防ぐことができましたが、全国的には多くの方が被害を受けています。特殊詐欺に絶対に引っかからないよう、日頃から意識してほしい」と話し、お金を請求する電話への注意喚起をしました。